

国際交流やまがた

INTERNATIONAL EDUCATIONAL EXCHANGE IN YAMAGATA



巻頭言

ロータリークラブと国際交流

山形ロータリークラブ会長

伊藤 吉明

私たち山形ロータリークラブと留学生との関係は、以前はロータリー財団の奨学生や青少年交換学生の派遣という形で、県関係の高校生や大学生を海外に派遣することが中心になっていたようですが、平成10年以降は財団奨学生を4名派遣したことに加えて、延7年間にわたり海外から山形にいらした4名の奨学生のお世話をしてまいりました。これは、「ロータリー米山奨学事業」によるものですので、ここでは、この事業について述べさせていただきます。

「ロータリー米山奨学事業」とは、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。事業主体は、日本のロータリーの創始者米山梅吉氏を記念した「米山基金」から発展した公益財団法人ロータリー米山記念奨学会であり、年間の奨学生採用数は約800人、事業費は14.6億円（2009年度）となっており、累計の奨学生では15,776人（2010年4月現在）、出身国は119カ国と国内の民間事業では最大規模となっています。奨学金は課程に応じて月額7～14万円とかなり充実したものと思っております。

また、奨学金による経済的支援だけでなく、ロータリークラブとの交流と精神的ケアを重視しており、奨学生一人ひとりに地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、また、その会員の中からカウンセラーが付いて日常の相談役となり生活にも配慮しています。

私たちのクラブでも、奨学金については毎月の例会に来ていただいておりますし、「歳忘れ家族会」などの懇親行事にも参加してもらい、会員とのふれあいを大切にしてきました。これからも、積極的に世話クラブを引受け国際交流の一助になっていきたいと考えております。

Tsuruoka: Science, Nature and Adventure

Tsuruoka Town Campus of Keio (TTCK), Keio University.

Mohamed Helmy



I got to know about Tsuruoka six years ago, through an internship opportunity in the Institute for Advanced Biosciences (IAB). In March 2007 I arrived to Tsuruoka and since that time, three aspects are impressing me in Tsuruoka i) the research environment in IAB, ii) the nature and sightseeing places in Tsuruoka and iii) the friendly behavior of the Tsuruoka people. Therefore, I decided to join Keio University to do my post graduate studies in IAB and stay in Tsuruoka. Currently, I got my Masters degree and doing my PhD in system biology. After finishing my PhD I wish to go back to my country (Egypt) to transfer the knowledge that I acquired during my study in Keio University and start an exchange program between my university in Egypt (Al-Azhar University) and IAB to allow more Egyptian students to come to Tsuruoka and explore this special part of the Japanese culture.

日本で暮らそうとする留学生の方へ

山形大学 人文学部
法経政策学科 4年

李 鍾一(イ ジョンイル)



現在日本には世界各国から来た留学生が大勢います。その中には卒業後、母国に帰る人もいますし、日本で働きたい！暮らしたい！と思う人も沢山います。外国人として日本で暮らすことは容易ではありません。日本人と就職活動で競い合い勝ち残らなければなりませんし、将来への不安も大きく、母国の家族とも会えなくなってしまいます。このデメリットを知つつも、日本が大好きで日本で暮そうと思っている方々は日本に来た理由を考えてください。きっとその理由は自分の夢を叶える為です。皆さんは新たな夢を抱えて、母国での進学ではなく、日本に来るという道を選択したはずで。その夢を諦めず、一步一步確実に道を進んでください。3月11日の震災、放射線の影響で帰国する留学生が増えています。日本が大好きで、もっと日本で暮らしたいと思う方はぜひ自分の夢に挑戦してみてください。心を決め、一歩進んだとき、新たな夢や道が留学生の皆さんの前に広がるはずで。

私の学校生活

新庄コンピュータ専門学校
情報システム科 1年

姜 鏗柯(キョウ ランカ)



もう日本に来て2年目になった。私は中国の北京の出身なので、日本に留学するとしたら、普通、東京とか大阪とかへ行くはずだけれども、今、私が住んでいる所は賑やかな大都市ではない。

新庄での生活の一年目は、日本語の勉強のために本校の日本語コースで学んだ。同コース修了後、東京の専門学校に受験し合格したけれども、大地震が発生し、私の父母も心配して、東京の学校に行くことを断念した。

日本語コースで一緒に勉強した仲間二人は仙台の専門学校へ行くことになったので、中国人として私一人が情報システム科に進学することになった。今はとても寂しい思いもしている。クラスメートの日本人学生たちは大人しい人が多くて、学校で会話する時間がないように感じられる。

とにかく、在学中に日本語能力試験1級を目標として頑張っていきたいと思っている。

日本人とのコミュニケーション

鶴岡工業高等専門学校
物質工学科 3年

ムハンマド アリフ



僕はインドネシア出身の留学生で、2010年4月に日本に来ました。まず東京で一年間日本語を勉強して2011年4月に鶴岡に来ました。今は鶴岡工業高等専門学校の物質工学科で勉強しています。僕のような留学生にとって勉強以外のことで一番重要なものはコミュニケーション、特に日本人とのコミュニケーションだと思います。

うまくコミュニケーションができることは留学生にとって、すごく大切なことだと思います。なぜなら、良いコミュニケーションで友達作りがよくできるからです。そして友達がたくさんできたら、寂しいという気持ちがある程度感じられなくなります。また友達は日本の文化や習慣など色々教えてくれます。

しかし、日本人と良いコミュニケーションをするということは、非常に難しいと僕は思います。だいたい日本人は消極的で恥ずかしがりやだと思います。だからうまく日本人とコミュニケーションを取れるために、僕達のような留学生が自分から積極的にコミュニケーションを取らなければなりません。

これからも鶴岡高専での生活を良くするためにもっと積極的にコミュニケーションを取りたいと思います。

山形県留学生交流推進協議会総会・運営委員会 第23回総会・第39回運営委員会(合同会議)

第23回山形県留学生交流推進協議会総会及び同協議会第39回運営委員会が、平成23年2月8日(火)に山形大学事務局第一会議室において開催されました。

会議では、山形県における留学生の受入及び留学生支援や中国黒龍江省との新たな交流等について話し合いが行われました。

県民と外国人留学生との交流会

第23回山形県留学生交流推進協議会総会及び同協議会第39回運営委員会の合同会議の終了後、『県民と外国人留学生との交流会』が開催され、留学生による歌が披露されるなど和やかな雰囲気の中で相互の交流を深めました。

山形県留学生交流推進協議会 事務担当者研修会

今回で5回目となる山形県留学生交流推進協議会事務担当者研修会が、平成23年10月25日(火)に、山形大学を会場に開催され、7つの機関から22名が受講しました。

この研修会は、各高等教育機関の職員が留学生の資格外活動等についての入国管理局への申請取次を行うための資格を取得し、留学生への便宜を図ることを主目的として開催しているものです。

研修会では、講師としておいでいただいた法務省仙台入国管理局審査部門の工藤信裕統括審査官から、留学生に係る審査関係や取次制度、申請手続き等についての説明が行われました。



事務担当者研修会

留学生地域交流事業

(財)中島記念国際交流財団助成事業

もっと「山形」を知ろう、「山形の企業」について知ろう、語ろう

(財)中島記念国際交流財団による支援をいただいて、標記の事業を実施しています。過去3年間に引き続いて採択されたもので、今年度は留学生の就職支援と留学生が在籍する高等教育機関の無い最上地域の皆様との交流を主目的としたものです。

平成18年度から、山形県と山形大学とが連携して留学生のためのインターンシップ事業を実施しておりますが、今回のプログラムはこれを山形県留学生交流推進協議会加盟大学に拡大するとともに、企業見学を含めた地域の皆様との交流会、就職セミナー、そして県内企業による留学生のための合同企業説明会を実施するというものです。

既に終了したインターンシップには県内企業15社から受け入れ希望をいただき、留学生から延べ63名(1人2社以上の参加も可)の参加希望があり、企業との事前面談を実施し、日程調整を行った結果、最終的には8月から10月にかけて、12社で延べ24名の留学生がお世話になりました。

11月19日から20日にかけては地域の皆様との交流事業を実施しました。

最初に株式会社シベール様(山形市)を訪問して代表的な菓子製品の製造工程等についての説明をいただいた後、最上地域に移動して名所等を見学し、夕方からは新庄市内で地元の皆様との交流会を開催しました。

最初に新庄市史編さん室長を務められた三浦和枝さんに新庄市の歴史等についての説明をいただいた後、留学生と子どもさんを含むたくさんの地元の皆様とが食事をともにしながら様々な話をし、有意義かつ楽しい時間を過ごさせて頂きました。この交流会に際しましては新庄市役所、日中友好協会もがみ支部等の皆様にたいへんお世話になりました。

翌20日には前森高原(最上町)での蕎麦打ち体験や新庄市ふるさと歴史センター見学を行いました。蕎麦打ち体験では全員がエプロンとバンダナを身に着けて作業を行い、最後に無事、自作の蕎麦を食べることができました。この後、本事業においては1月22日に留学生を対象とした就職セミナーと県内企業による合同企業説明会を開催します。この「国際交流やまがた Vol.23」が発行される頃には一連の事業が終了している予定です。



新庄市民と留学生の交流会



前森高原でのそば作り体験

チアダンス部に入って

東北文教大学短期大学部
総合文化学科1年

朴 志炫(パク ジヒョン)



私は去年、東北文教大学短期大学部の留学生別科を修了し、今は総合文化学科に在学しています。最初、山形に来たときは周りに田畑以外には何もなかったため、ずいぶん田舎に来たなと少しがっかりしましたが、勉強には専念できる環境だと思いました。

留学生生活も2年目になり、今年の大学祭では、日本人との交流がさらに深まりました。特にチアダンス部の活動を通じて、親しくなれたと思います。入部当初はリーダーの指示をなかなか理解できず、部員ともうまく話せませんでした。夏休み後大学祭の準備でグループごとの練習を重ねていく中で、日本人の部員が私に興味を持ってくれるようになり、親しみが増してきました。リーダーから一年生と留学生は、韓国の曲目でとの指示があったので、服装も布選びからデザインまでグループで話し合い、手縫いで仕上げました。曲目や振り付けを決める時には、意見の食い違いもありましたが、そのお蔭で大学祭を楽しむことができたと思います。

現在も、最近日本で流行している韓国の曲に合わせてダンスをするなど、日本人と一緒にチアダンスを楽しんでいます。

「門馬太一郎」との 出会い

東北芸術工科大学
グラフィックデザイン科3年

金 東玉(キム ドンオク)



人が生きているうちはたくさんの出会いが待っていると思う。それがなにかしらの運命を感じさせるものではなくても大切な出会いであろう。

埼玉からここ山形に来て、また様々な人との出会いがあった。しかし、中でももっとも私のところに強く印象づけられた人と言えば同じ学科で一緒に勉強している「門馬太一郎」であろう。現在通っている大学へ編入してきた私は、皆とどうやって仲良くなればいいのかを悩む時に、声をかけてくれたのが「太一郎」であった。「門馬太一郎」という名前を初めて聞いたとき「もんま」という響きがなぜか日本の和の重圧感を感じさせられたが、いつもさわやかな笑顔を降りまく「太一郎」であった。それで私は「門馬」よりさわやかな音がする「たいちろう」や「たいちよー」と呼んでいる。

今年の3.11、日本に来てはじめて経験する被災であった。それは恐ろしく今でも家にいる時、少しの揺れを感じても心が動揺してしまうほどの恐ろしい思い出である。その震災の時に誰よりも被害を受けたのは「太一郎」である。「太一郎」の実家は「福島県南相馬市」である。実家の近くに原子力発電所あって放射能流出が酷くなってしまい家に帰ることができなくなってしまった。そのせいでお父さんは「アスバラガス」の農業もできなくなり、ここ山形に引っ越すことになってしまった。いつも楽しみにしていた「太一郎」のお父さんの「アスバラガス」が食べられなくなったのは非常に残念である。

しかし、その時でも「太一郎」は「大丈夫だよ」とにっこりと笑っていた。その後も自分も震災を受けた被害者なのにここ山形に避難してきた人々のためにボランティア活動や震災の時の写真を撮って東京で写真展を開いたり、忙しい日々を送った。なぜそこまでポジティブに前向きでいられるのか。それは誰よりも情が深くて人が好きな「門馬太一郎」だからこそできるのではないかと感じた。最近就職活動で忙しい日々を送っていて、卒業したら皆な離ればなれになって「太一郎」と別れることになるかもしれない。しかし、いつもにっこりと笑って「おはよう」と挨拶する「門馬太一郎」にきっと会いたくなくなると思う。

支援団体の紹介

財団法人山形県国際交流協会

世界と共に生きよう やまがた地球市民

財団法人山形県国際交流協会（通称：AIRYエアリィ）は、国際交流に関する情報の提供、県内民間国際交流団体との連携強化、共催事業の開催、国際交流ボランティアの養成・活動支援、国際交流イベントや異文化理解講座などを実施しております。また、県内在住外国人の方向けに、日本語教室や、外国語による相談窓口を設置しております。

また、「国際交流・国際協力・日本語を教えるボランティアがしたい」そんな方にご紹介したいのが、サポーター制度です。「語学」「イベント協力」「日本語」「ホストファミリー」「国際理解」の5つの分野で、希望の分野に登録いただけます。例えば、山形を訪れる外国人を自分の家庭に受け入れたいという方には、「ホストファミリー」の分野でご登録いただき、他機関から募集があった際、都合や条件などが合致すれば、ホストファミリーとして受け入れていただくことができます。また、在住外国人の日本語学習をサポートしたいという方には、「日本語」の分野でご登録いただき、日本語学習を希望する在住外国人の日本語学習サポートに携わっていただくことができます。

設立から20年を迎えた山形県国際交流協会は、皆様の協力をいただきながら、これからも在住外国人と山形県民とをつなぐ架け橋として幅広い事業を展開してまいります。賛助会員入会やサポーター登録、イベント参加を心よりお待ちしておりますので、どうぞお気軽に山形駅西の霞城セントラルビル2Fの山形県国際交流センターへ足を運んでみてください。なお、詳しくは、当協会ホームページ（<http://www.airyamagata.org>）をご覧ください。



毎月第2・4土曜日開催のとびりワールド茶館(カフェ)

交流風景



スポーツ祭 (東北文教大学・東北文教大学短期大学部)



りんご狩り (庄内国際交流協会)



外国人留学生・研修生のための異文化交流事業
(国際コミュニケーションレディスクラブ)



国際交流のつどい2011 (山形県国際交流協会)



国際ノルディックウォークin湯野浜 (鶴岡工業高等専門学校)



留学生対象研修旅行 (東北芸術工科大学)



干し柿づくり体験 (アースネットワーク米沢)



小学生と留学生の交流会in山形 -X'masイベントを楽しもう!-
(山形大学・大学コンソーシアムやまがた)

地方別・都道府県別留学生数 (独立行政法人日本学生支援機構)

平成23年5月1日現在
(単位：人)

地方名	留学生数	構成比	都道府県	留学生数	地方名	留学生数	構成比	都道府県	留学生数
北海道	2,734 (2,537)	2.0% (1.8)	北海道	2,734	近畿	24,807 (24,598)	18.0% (17.4)	三重	1,025
				(2,537)				(2,537)	滋賀
東北	3,746 (4,221)	2.7% (3.0)	青森	413	中国	7,142 (6,980)	5.2% (4.9)	京都	6,246
			岩手	375				大阪	10,325
			宮城	2,018				兵庫	4,959
			秋田	292				奈良	1,490
			山形	207				和歌山	292
			福島	441				鳥取	183
								島根	230
関東	64,088 (68,095)	46.4% (48.0)	茨城	2,713	四国	1,418 (1,457)	1.0% (1.0)	岡山	2,516
			栃木	1,073				広島	2,647
			群馬	1,571				山口	1,566
			埼玉	6,013				徳島	350
			千葉	4,850				香川	378
			東京	43,188				愛媛	507
			神奈川	4,680				高知	183
中部	15,441 (15,829)	11.2% (11.2)	新潟	1,592	九州	18,699 (18,057)	13.5% (12.7)	福岡	10,635
			富山	571				佐賀	341
			石川	1,670				長崎	1,518
			福井	309				熊本	667
			山梨	880				大分	3,873
			長野	681				宮崎	167
			岐阜	1,353				鹿児島	881
			静岡	1,679				沖縄	617
			愛知	6,706					

() 平成22年5月1日現在の数。

交流風景



設立20周年記念事業自主制作映像コンテスト
(山形市国際交流協会)



留学生のための「県内企業合同説明会」
(山形県・山形大学)

山形県外国人留学生の現況 (高等教育機関関係)

平成23年10月1日現在
(単位：人)

1. 費用別外国人留学生数

区分	山形大学	東北芸術工科大学	東北公益文科大学	慶應義塾大学 鶴岡タウンキャンパス	東北文教大学 短期大学部	米沢女子 短期大学	羽陽学園 短期大学	鶴岡工業 高等専門学校	新庄コンピュータ 専門学校	計
国費	14 (7)							5 (0)		19 (7)
外国人政府派遣	27 (4)							5 (0)		32 (4)
										0 (0)
										0 (0)
県費										0 (0)
私費	147 (64)	10 (3)		4 (1)	17 (13)				1 (0)	179 (81)
計	188 (75)	10 (3)	0 (0)	4 (1)	17 (13)	0 (0)	0 (0)	10 (0)	1 (0)	230 (92)

(注) () 内の数字は、女子で内数。

2. 国・地域別外国人留学生数

(単位：人)

区分	山形大学	東北芸術工科大学	東北公益文科大学	慶應義塾大学 鶴岡タウンキャンパス	東北文教大学 短期大学部	米沢女子 短期大学	羽陽学園 短期大学	鶴岡工業 高等専門学校	新庄コンピュータ 専門学校	計
中国	83 (38)	3 (1)			7 (5)				1 (0)	94 (44)
韓国	25 (11)	7 (2)			10 (8)					42 (21)
マレーシア	30 (5)							5 (0)		35 (5)
インドネシア	6 (2)							2 (0)		8 (2)
台湾	7 (3)									7 (3)
モンゴル	5 (4)							2 (0)		7 (4)
タイ	5 (5)									5 (5)
アメリカ	5 (1)									5 (1)
ミャンマー	4 (2)									4 (2)
ラオス	1 (0)							1 (0)		2 (0)
バングラデシュ	2 (0)									2 (0)
オランダ	2 (0)									2 (0)
インド	1 (0)			1 (0)						2 (0)
ウガンダ	2 (1)									2 (1)
香港	1 (1)									1 (1)
ベトナム	1 (0)									1 (0)
ルーマニア	0 (0)			1 (1)						1 (1)
エジプト	0 (0)			1 (0)						1 (0)
フランス	0 (0)			1 (0)						1 (0)
イスラエル	1 (0)									1 (0)
ガーナ	1 (1)									1 (1)
スリランカ	1 (0)									1 (0)
ジャマイカ	1 (0)									1 (0)
ベネズエラ	1 (0)									1 (0)
ガイアナ	1 (0)									1 (0)
イギリス	1 (0)									1 (0)
フィンランド	1 (1)									1 (1)
計	188 (75)	10 (3)	0 (0)	4 (1)	17 (13)	0 (0)	0 (0)	10 (0)	1 (0)	230 (92)

(注) () 内の数字は、女子で内数。

3. 住居形態別外国人留学生数

(単位：人)

区分	山形大学	東北芸術工科大学	東北公益文科大学	慶應義塾大学 鶴岡タウンキャンパス	東北文教大学 短期大学部	米沢女子 短期大学	羽陽学園 短期大学	鶴岡工業 高等専門学校	新庄コンピュータ 専門学校	計
大学の寮等	111 (47)			1 (0)	9 (9)			10 (0)		131 (56)
公営住宅	3 (1)									3 (1)
民間会社の社員寮	0 (0)									0 (0)
民間アパート等	70 (26)	10 (3)		3 (1)	3					86 (30)
その他	4 (1)				5 (4)				1 (0)	10 (5)
計	188 (75)	10 (3)	0 (0)	4 (1)	17 (13)	0 (0)	0 (0)	10 (0)	1 (0)	230 (92)

(注) () 内の数字は、女子で内数。

山形県留学生交流推進協議会会員名

	機関・団体名	職名等	氏名
高等教育機関	山形大学	学長	結城章夫
	東北芸術工科大学	学長	根岸吉太郎
	東北公益文科大学	学長	黒田昌裕
	慶應義塾大学鶴岡タウンキャンパス	所長	富田勝
	山形県立米沢女子短期大学	学長	遠藤恵子
	東北文教大学・東北文教大学短期大学部	学長	内田英子
	羽陽学園短期大学	学長	研攻一
	鶴岡工業高等専門学校	校長	加藤靖
	新庄コンピュータ専門学校	校長	村上國雄
国及び地方公共団体	山形地方法務局	局長	酒井修
	仙台入国管理局酒田港出張所	所長	杉山俊也
	山形県	知事	吉村美栄子
	山形市	市長	市川昭男
	米沢市	市長	安部三十郎
	鶴岡市	市長	榎本政規
	酒田市	市長	阿部寿一

INTERNATIONAL
EDUCATIONAL
EXCHANGE IN YAMAGATA

	機関・団体名	職名等	氏名	
経済団体	山形県商工会議所連合会	会長	清野伸昭	
	山形県商工会連合会	会長	小野木 覺	
	山形経済同友会	代表幹事	中山真一	
	(社)山形県経営者協会	会長	黒澤洋介	
	山形県農業協同組合中央会	会長	今田正夫	
	山形県中小企業団体中央会	会長	山本 惣一	
	(公益社団法人)日本青年会議所 東北地区山形ブロック協議会	会長	柴崎 稔	
	(財)山形県国際交流協会	理事長	高橋 節	
	山形県青年海外協力協会	会長	加藤和宏	
	庄内国際交流協会	会長	山口吉彦	
国際交流関係団体	山形ロータリークラブ	会長	伊藤吉明	
	山形北ロータリークラブ	会長	庄司建郎	
	ライオンズクラブ国際協会 (332-E地区キャビネット事務局)	地区ガバナー	野川 亘	
	国際コミュニケーション レディーズクラブ	会長	井上 みやま	
	社団法人米沢工業会	理事長	結城経治	
	(財)出羽庄内国際交流財団	理事長	榎本政規	
	国際日本文化研究会	会長	飯島武久	
	アースネットワーク米沢	会長	情野芳明	
	その他	(独)日本学生支援機構東北支部	支部長	鈴木研一

(順不同・敬称略)

山形県留学生交流推進協議会運営委員会委員名

機関・団体等名	氏名
山形大学 副学長	安田 弘 法
東北文教大学・東北文教大学短期大学部 国際教育センター 長	後藤 典 子
山形地方法務局 人権擁護課長	富樫 裕 幸
山形県商工観光部観光交流局経済交流課国際室長	岩田 徹
山形市総務部国際交流センター所長	矢萩 栄次郎
山形県商工会議所連合会 幹事	三澤 栄 治
山形経済同友会 副代表幹事	熊谷 真 一

機関・団体等名	氏名
山形県中小企業団体中央会事務局 長	安達 健 三
山形県国際交流協会総務企画部長	安達 孝 義
山形県青年海外協力協会 理事	吉田 庸 一
山形ロータリークラブ 幹事	長谷川 憲 治
山形北ロータリークラブ 会長	庄司 建 郎
山形大学 渉外部 長	佐竹 正 行
山形大学 渉外部国際交流課 長	山口 茂 男

(順不同・敬称略)
(平成24年1月1日現在)

高等教育機関等のホームページアドレス

- 羽陽学園短期大学
- 慶義塾大学鶴岡タウンキャンパス
- 新庄コンピュータ専門学校
- 鶴岡工業高等専門学校
- 東北芸術工科大学
- 東北公益文科大学
- 東北文教大学・短期大学部
- 放送大学山形学習センター

- http://www.uyo.ac.jp/
- http://www.ttck.keio.ac.jp/
- http://sca.core.ac.jp/
- http://www.tsuruoka-nct.ac.jp/
- http://www.tuad.ac.jp/
- http://www.koeki-u.ac.jp/
- http://www.t-bunkyo.jp/
- http://www.ouj.ac.jp/

- 山形県立産業技術短期大学校
[山形校] http://www.yamagata-cit.ac.jp/index3.html
[庄内校] http://www.shonai-cit.ac.jp/
- 山形県立農業大学校 http://ynodai.ac.jp/
- 山形県立保健医療大学 http://www.yachts.ac.jp/
- 山形県立米沢女子短期大学 http://www.yone.ac.jp/
- 山形工科短期大学校 http://www.yit.ac.jp/
- 山形大学 http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html
- 山形県 http://www.pref.yamagata.jp/

2012-1
No. 23

山形県留学生交流推進協議会

事務局 山形大学渉外部国際交流課内

所在地 山形市小白川町一丁目4番12号

TEL 023-628-4118

FAX 023-628-4849

E-mail rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp